

令和 7 年 11 月 20 日定例記者会見

【市長あいさつ（要旨）】

今年は市制 70 周年の節目として、一年を通して多くの行事を行ってきた。10 月 25 日、26 日に開催した小牧市民まつりは、市内最大のイベントということで多くの方々に楽しんでいただいた。2 日目は雨でパレードは中止となったが、70 周年のお祝いとともに皆様の協力の中で開催できた。特に、市制 70 周年記念事業として 8 月に開催したこども議会で、中学生からいただいた提案の一つに「市内のイベントに、中学生が主体となって運営するブースを出したい」というものがあり、さっそく実現していただいた。

今年は「健康」と「環境」をテーマに掲げ、5 月に開催した市制 70 周年記念式典ではリニューアルした環境都市宣言を行った。こども議会でも環境への関心が高く、中学生自身ができる取組を考え、11 月 2 日の小牧市青少年健全育成市民大会で『こまきこども環境行動宣言』として発表していただいた。単発のイベントではなく、この取組をきっかけに、こどもも大人も一緒になってまちづくりに取り組める活動を継続してまいりたい。市制 60 周年で提案されたあいさつ運動が今なお続いているように、今後も持続可能なまちづくりにつなげてまいりたい。

師走が近づき、市制 70 周年の記念の年も残り約 40 日となった。寒くなってきたので市民の皆さんにはご自愛いただきたいほか、火災予防や交通安全にも呼びかけていく。コロナ禍が終わって正常化していく中で、現在はクマ被害が出ている地域もある。何が起こるか分からない時代であるので、先を見据えつつも地に足をつけながら、市民の皆さんの安全・安心を第一に、快適で活力あるまちづくりを進めてまいりたい。

昨日は岡山県総社市で開催された外国人集住都市会議に出席し、外国人問題について他市の首長や学識者、国の担当者と議論した。外国人問題は先の参議院選挙でも一つの争点となり、これからの日本のあり方が議論されている。

小牧市は人口の 7.7%、11,000 人超の外国人が生活しており、20 年以上前から共生に取り組んできた。これまで国全体で移民政策の議論や外国人受入れの方針にかかる説明が十分になされず、自治体任せで有効な対策を打ってこなかったツケが回ってきていると感じる。排斥ではなく共生の社会を実現するため、外国人を受け入れることの意義や経済的効果、メリット・デメリットを含めて冷静な議論を行い、国民全体としての合意形成が必要と考えている。

本日の記者会見では、令和 7 年小牧市議会第 4 回定例会の提出議案についてご説明

させていただく。上程議案数は条例案が8件、一般議案が4件、補正予算案が21件、人事案が1件、諮問が4件の合計38件である。また「小中学校マイボトル給水機借上事業」「ひとり親世帯の養育費確保支援の拡充」「史跡小牧山大手道第2次発掘調査現地説明会等」「小牧駅周辺イルミネーション」についてもお伝えする。

【説明要旨】

■令和7年小牧市議会第4回定例会提出議案（第1号議案）について

[条例案]

- 小牧市環境基本条例の一部を改正する条例

市、市民及び事業者は、未来のこどもたちに豊かで美しい地球を残すために、人類だけでなく多様な生物にとって良好な環境を保全していかなければならないこととし、これを踏まえた市、市民及び事業者の責務についての規定の整備等を行うもの。

- 小牧市火災予防条例及び小牧市火入れに関する条例の一部を改正する条例

市長は、気象の状況が林野火災の予防上注意を要すると認めるときは、林野火災に関する注意報を発することができることとするほか、林野火災の予防に関する規定の整備を行うもの。

- 小牧市道路占用料条例等の一部を改正する条例

道路占用料、都市公園の使用料、公共用物の使用料及び準用河川区域内の土地占用料の改定等を行うもの。

- 小牧市市道の構造の技術的基準を定める条例の一部を改正する条例

自転車通行帯の設置基準を定めるもの。

- 小牧市屋外広告物条例

屋外広告物法の規定に基づき、屋外広告物に関し必要な事項を定めることにより、地域の特性を考慮した良好な景観を形成し、若しくは風致を維持し、又は公衆に対する危害を防止することを目的とするもので、広告物等の制限、管理、監督等、小牧市景観審議会への諮問、罰則等について定めるもの。

[一般議案]

- 小牧市味岡児童館の指定管理者の指定について

一般社団法人なないろにこりを令和8年4月1日から3年間指定するもの。

- 小牧市北里児童館の指定管理者の指定について

株式会社小学館集英社プロダクションを令和 8 年 4 月 1 日から 3 年間指定するもの。

- **小牧市道路線の廃止について**

峠 4 号線ほか 8 路線を廃止するもの。

- **小牧市道路線の認定について**

郷浦 57 号線ほか 5 路線を認定するもの。

[補正予算]

《概要》

- **一般会計**

補正前の額に 5 億 2,054 万 5 千円を追加し、714 億 3,773 万円とするもの。

- **特別会計**

国民健康保険事業特別会計をはじめ 7 会計で、5 億 8,335 万 5 千円を追加し、288 億 5,707 万 6 千円とするもの。

- **企業会計**

病院事業会計で、収益的支出で 8,073 万円を減額し、268 億 6,440 万 9 千円とするもの。

水道事業会計で、収益的支出で 55 万 4 千円を増額し、30 億 936 万 5 千円とするもの。資本的支出で 222 万 5 千円を減額し、14 億 9,490 万 3 千円とするもの。

下水道事業会計で、収益的収入で 151 万 6 千円を減額し、31 億 6,106 万 1 千円とするもの。収益的支出で 151 万 6 千円を減額し、31 億 737 万 3 千円とするもの。資本的収入で 300 万 1 千円を減額し、13 億 6,570 万 3 千円とするもの。資本的支出では 300 万 1 千円を減額し、18 億 2,668 万 8 千円とするもの。

《令和 7 年度小牧市一般会計補正予算（第 4 号）》

- **歳出**

政務活動費交付金は、令和 7 年 6 月に議員 1 名が辞職したことに伴う減額。

標準準拠システム移行委託料と会計管理一般事業の減額は、基幹系システムの標準準拠システムへの移行時期について、当初予定の令和 7 年 11 月から令和 8 年 9 月に延期となったことに伴う、今年度分の不用額の整理。

人事給与システム修正委託料は、令和 8 年度に創設される「こども子育て支援金制度」に対応するため、保険料算定などのシステム改修を行うもの。

南部コミュニティセンター施設整備工事費は講堂の空調機を更新するもの。

戸籍情報システム修正等委託料は、戸籍へのフリガナ記載にかかるシステム修正と、令和8年4月に施行される民法改正に対応するためのシステム修正。返還金（障害者医療費負担金等をはじめ6件）は、すべて過年度の精算に基づくもの。

ふれあいセンター管理運営委託料は、空調機の故障に伴う光熱水費の増額。

介護給付事業から日中一時支援給付費までは、当初の見込みより利用人数や利用日数などが増加していることから増額するもの。

精神障害者医療扶助費と後期高齢者福祉医療費給付金は、当初の見込みより利用実績などが増加していることから増額するもの。

介護施設防災・減災等支援事業補助金は、社会福祉法人の非常用自家発電設備整備に対する補助。

生活保護費は、保護世帯の増加に伴い、扶助費が当初の見込み以上に増加しているため増額するもの。

産後ケア事業委託料は、当初の見込み以上に利用者が増加しているため増額するもの。

中部公民館整備工事費は、地下駐車場消防設備の消火剤の入れ替え及び消火設備の変更。

人件費は、人事異動に伴う調整などによる減額。

- **繰越明許費補正**

システム管理事業と財務会計システム修正委託事業は、基幹系システムの標準準拠システムへの移行時期の延期に伴い、年度内に完了しないため、委託料を繰り越すもの。

コミュニティセンター施設整備事業は、南部コミュニティセンターの講堂の空調機を更新するもので、年度内の完了が見込めないため、工事費を繰り越すもの。

中部公民館施設整備事業は、地下駐車場消防設備の消火剤の入れ替え及び消火設備の変更について、年度内の完了が見込めないため、工事費を繰り越すもの。

- **債務負担行為補正**

標準準拠システム移行委託事業は、基幹系システムの標準準拠システムへの移行時期の延期に伴い、既設の債務負担行為の期間を延長しようとするもの。公共ファシリティマネジメント推進計画改定支援委託事業は、第2期以降の計画を改定するため、学校再編等の課題への取り組みなどの時点修正、公共施

設劣化診断を含めた委託をするもので、委託が翌年度にまたがるため設定するもの。

ふれあいセンター冷温水機修繕事業は、空調機のポンプを修繕するもので、工期が翌年度にまたがるため設定するもの。

障がい福祉事務支援委託事業と福祉医療事務支援委託事業、高齢者福祉医療事務支援委託事業は、令和 8 年 4 月から業務を委託するにあたり、その受託者の事前準備期間が必要であることから設定するもの。

障がい福祉計画等策定支援委託事業は、令和 8 年度に第 8 期小牧市障がい福祉計画及び第 4 期小牧市障がい児福祉計画を策定するにあたり、委託が翌年度にまたがるため設定するもの。

味岡児童館と北里児童館の管理運営委託事業は、指定管理者の指定をするにあたり、指定期間が複数年度にわたるため、その間の指定管理者への委託料の支出が見込まれるため設定するもの。

小牧山さくらまつり開催委託事業は、令和 8 年のさくらまつりにおいて、ライトアップエリアの拡大と火気の使用許可を再開することに伴い、限度額を引き上げるもの。

道路側溝補修事業から道路側溝新設事業までは、公共工事の発注時期を平準化し、建設業者の経営の効率化や安定化、競争性の向上などのため設定するもの。

小学校と中学校のマイボトル給水機借上事業は、小中学校にウォータークーラーを設置するもので、暑くなる前の 5 月末までに設置するため設定するもの。

《令和 7 年度小牧市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）》

- **歳入補正**

歳出の補正に伴うもの。

- **歳出補正**

返還金は令和 6 年度の精算に基づくもの。そして人件費の補正。

- **繰越明許費**

国民健康保険税賦課徴収事業は、基幹系システムの標準準拠システムへの移行時期の延期に伴い、作業が年度内に完了しないため、委託料を繰り越すもの。

- **債務負担行為補正**

国民健康保険事務支援委託事業は、令和 8 年 4 月から業務を委託するにあた

り、その受託者の事前準備期間が必要であることから設定するもの。

高額療養費管理システム構築委託事業は、基幹系システムの標準準拠システム移行に伴い、一部の処理ができなくなるため、システムを構築しようとするもので、年度内完了が見込めないため設定するもの。

《令和 7 年度尾張都市計画事業小牧文津土地地区画整理事業特別会計補正予算（第 1 号）》

《令和 7 年度尾張都市計画事業小牧岩崎山前土地地区画整理事業特別会計補正予算（第 1 号）》

《令和 7 年度尾張都市計画事業小牧南土地地区画整理事業特別会計補正予算（第 1 号）》

《令和 7 年度尾張都市計画事業小牧本庄土地地区画整理事業特別会計補正予算（第 1 号）》

- 歳入補正、歳出補正

いずれも人件費の補正。

《令和 7 年度小牧市介護保険事業特別会計補正予算（第 2 号）》

- 歳入補正

歳出の補正に伴うものや財源振替するもの。

- 歳出補正

業務用備品購入費は、介護認定審査会の委員を増員するため、必要となるタブレットを購入するもの。

居宅介護サービス給付事業から介護予防通所型サービス事業負担金までは、いずれも給付費が当初の見込み以上に増加しているため増額するもの。

返還金は令和 6 年度の精算に基づくもの。そして人件費の補正。

《令和 7 年度小牧市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）》

- 歳入補正

歳出の補正に伴うもの。

- 歳出補正

保険料等負担金は、令和 6 年度分の保険料確定に伴う増額。

療養給付費負担金は、令和 6 年度分の療養給付費負担金確定に伴う増額。

- 繰越明許費

後期高齢者医療保険料徴収事業は、基幹系システムの標準準拠システムへの移行時期の延期に伴い、作業が年度内に完了しないため、委託料を繰り越すもの。

- 債務負担行為補正

後期高齢者医療事務支援委託事業は、令和 8 年 4 月から業務を委託するにあたり、その受託者の事前準備期間が必要であることから設定するもの。

《令和 7 年度小牧市病院事業会計補正予算（第 2 号）》

- 収益的支出補正

人件費の増額など。

- 債務負担行為補正

未収金回収業務委託事業は、令和 8 年 4 月から業務を委託するにあたり、委託期間が複数年度にわたることから設定するもの。

《令和 7 年度小牧市水道事業会計補正予算（第 1 号）》

《令和 7 年度小牧市下水道事業会計補正予算（第 2 号）》

- 収益的收入補正、収益的支出補正

- 資本的收入補正、資本的支出補正

いずれも人件費の補正。

[人事案]

《小牧市公平委員会委員の選任について》

委員 久志本 修一氏の任期満了に伴い、後任者に同氏を選任しようとするもの。

[諮問]

《人権擁護委員候補者の推薦について》

諮問第 5 号は、委員 井上 靖生氏の任期満了に伴い、後任候補者に同氏を推薦しようとするもの。

諮問第 6 号は、委員 伊東 和子氏の任期満了に伴い、後任候補者に同氏を推薦しようとするもの。

諮問第 7 号は、委員 森川 松子氏の任期満了に伴い、後任候補者に丹羽 和子氏を推薦しようとするもの。

諮問第 8 号は、委員 山中 小幸氏の辞任に伴い、後任候補者に植村 美奈氏を推薦しようとするもの。

■令和 7 年小牧市議会第 4 回定例会提出議案（第 2 号議案）について

[条例案]

- 小牧市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

国家公務員の給与改定に準じて、期末手当及び勤勉手当の支給割合の変更並びに給料月額改定等を行うもの。

- 小牧市特別職の給与に関する条例及び議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

一般職の職員の給与改定に準じて、特別職及び議会の議員の期末手当の支給割合を変更するもの。

- **小牧市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例**

特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定めるもので、特定乳児等通園支援事業者の一般原則並びに特定乳児等通園支援事業の利用定員の基準及び運営に関する基準について定めるもの。

[補正予算]

《概要》

- **一般会計**

補正前の額に6億2,618万5千円を追加し、720億6,391万5千円とするもの。

- **特別会計**

国民健康保険事業特別会計をはじめ6会計で、468万1千円を追加し、240億4,482万5千円とするもの。

- **企業会計**

病院事業会計で、収益的支出で4,885万8千円を増額し、269億1,326万7千円とするもの。

水道事業会計で、収益的支出で535万7千円を増額し、30億1,472万2千円とするもの。資本的支出では、270万5千円を増額し、14億9,760万8千円とするもの。

下水道事業会計では、収益的収入で223万5千円を増額し、31億6,329万6千円とするもの。収益的支出で223万5千円を増額し、31億960万8千円とするもの。資本的収入では232万1千円を増額し、13億6,802万4千円とするもの。資本的支出では232万1千円を増額し、18億2,900万9千円とするもの。

《令和7年度小牧市一般会計補正予算（第5号）》

- **歳出**

特別会計等の繰出金（国民健康保険事業特別会計繰出金をはじめ4件）は、それぞれの特別会計等の補正予算の財源とするもの。

教育・保育事業は、教育・保育施設型給付費、地域型保育給付費、保育施設型給付費について、人事院勧告による公定価格の上昇や小規模保育事業所の新設に伴う入園児童数の増加等により、給付費を補正するもの。

人件費は、令和7年度の人事院勧告に準じた給与改定に伴う調整を行うもの。

《令和7年度小牧市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）》

《令和 7 年度尾張都市計画事業小牧文津土地地区画整理事業特別会計補正予算（第 2 号）》
《令和 7 年度尾張都市計画事業小牧岩崎山前土地地区画整理事業特別会計補正予算（第 2 号）》
《令和 7 年度尾張都市計画事業小牧南土地地区画整理事業特別会計補正予算（第 2 号）》
《令和 7 年度尾張都市計画事業小牧本庄土地地区画整理事業特別会計補正予算（第 2 号）》
《令和 7 年度小牧市介護保険事業特別会計補正予算（第 3 号）》

- 歳入補正、歳出補正

いずれも人件費の補正。

《令和 7 年度小牧市病院事業会計補正予算（第 3 号）》

- 収益的支出補正

人件費等の補正。

《令和 7 年度小牧市水道事業会計補正予算（第 2 号）》

《令和 7 年度小牧市下水道事業会計補正予算（第 3 号）》

- 収益的支出補正

- 資本的支出補正

いずれも人件費の補正。

■小中学校マイボトル給水機借上事業について

近年、猛暑日の増加により熱中症のリスクが高まっており、小中学校においても熱中症対策の充実が求められている。そこで、児童生徒の学校生活や登下校時などの熱中症対策として、市内全小中学校 25 校にマイボトル給水機を設置することとした。

市としては、熱中症には水分補給が最も主要な対策の一つと考えており、児童生徒に対して各自でこまめに意識的に水分補給するよう指導してきた。特に暑い時期にはより多くの水分補給が必要となるため、持ってきたお茶などが無くなってしまうことがあった。マイボトル給水機を設置し、下校や部活動の前などに必要な水分を補給できるようにすることで、児童生徒の熱中症予防につなげたい。

また、設置を予定しているマイボトル給水機は直飲み型ではないため、衛生的で、児童生徒が安心して水分補給を行うことができる。給水機は 5 年間のリース契約で、各校 2 台、合計 50 台を設置する。暑くなる前の令和 8 年 6 月ごろから利用できるよう、令和 7 年度中にリース業者を選定し、設置に向けた準備を行うため、今回 12 月補正予算で債務負担行為を計上したもの。

■ひとり親世帯の養育費確保支援の拡充について

厚生労働省の調査結果では、養育費を定期的に受け取っている母子世帯の割合は 28.1%と 3 割にも満たず、ひとり親世帯の貧困の一つの原因となっている。そこで、子育て中のひとり親世帯が養育費を継続的に受け取り、生活の安定が図られるよう、12 月から新たに本市独自の養育費保証契約手続きや保証料の支援を開始する。

ひとり親世帯が養育費確保のために保証会社と契約するには、自身で保証会社を探し、審査を受けたうえで契約手続きを行い、その費用を自身で負担する必要があるなど、かなりハードルが高く諦めてしまうケースがある。そこで市と保証会社が連携し、養育費保証契約を結ぶ際の事務手続きを市が支援することにより、簡易審査のみで契約できるようにする。

また、初年度の保証料相当額（上限 5 万円）を市が保証会社に直接支払うことで、ひとり親世帯が保証料を負担することなく、養育費にかかる 1 年間の保証契約を結ぶことができ、養育費確保支援の強化につながる。

仮に養育費の未払いが発生した場合、当事者間で連絡することなく、翌月に保証会社が養育費を立て替え、年間 60 万円を上限として、養育費が保証される。未払い分は保証会社が支払人から回収するため、相手との接触は一切必要ない。

また、保証期間は 1 年間となるが、2 年目以降に未払いがあった場合には、自身で地方裁判所に給与等の差押えの手続きができる。初回の手続き時のみ、弁護士への相談に必要な費用も助成対象としている。

なお、この取組は全国で 4 例目であり、中部地方の自治体では初めてである。

■その他

1. 史跡小牧山大手道第 2 次発掘調査現地説明会等について

小牧山城の復元整備の資料とするため、平成 16 年度から発掘調査を行っているが、今年度は昨年度に引き続き信長が築いた大手道の発掘調査を実施し、大手道沿いに信長築城時に築かれたと考えられる石垣などの遺構が確認できた。この発掘調査の成果について、12 月 13 日土曜日、午前と午後の 2 回に分けて現地説明会を開催する。各回 30 分ほど説明した後、発掘調査現場を見学していただくもの。

小牧山城復元プロジェクト裏込石記名イベントは、令和 3 年度から始まった小牧山城の石垣復元工事で、石垣の背後に詰める補修用の裏込石に有料で名前やメッセージを入れていただくことにより、小牧山城の石垣復元に向けて市民参加の意識の醸成を図る取組として行う。発掘調査現地説明会と同日の 12 月 13 日土曜日午前 9 時から午後 4 時 30 分まで、れきしるこまきにて実施する。予定数量は 200 個で、予定数量に達し次第終了となる。参加費は 20cm を超える石が 1 個 2,000 円、

20cm 以下の石が 1 個 1,000 円である。

この裏込石記名イベントは今年で 5 年目だが、小牧山山頂の石垣整備が完了する今年度が一旦最後の年となる。

2. 小牧駅周辺イルミネーションについて

11 月 10 日より、小牧駅周辺を彩る小牧駅周辺イルミネーション事業を実施している。来年 2 月 15 日まで午後 5 時から 10 時までの間にぎわい広場とシンボルロードにて点灯する。

本年は、市制施行 70 周年を記念して「Luminous 70th ～市制 70 周年、そして光の未来へ～」をテーマに、7 か所のフォトスポットを設置するとともに、シンボルロード沿いの 580m をイルミネーションの光で彩っている。